

# きりの里

(「基里」の「里」を音読みにして、「きり」としています。)



本校は、鳥栖市立基里小学校と  
施設分離型小中一貫教育を  
推進しています。

鳥栖市立基里中学校  
学校だより No.20  
令和6年3月22日  
校長 中山 孝史

## ～第77回卒業式～

3/8(金)9時30分から体育館において、令和5年度鳥栖市立基里中学校卒業式を行いました。卒業証書を手渡した後、式辞では卒業生に対して、京セラ・KDDIの創業者であり、経営破綻したJALを再建された稲盛和夫さんの3つの語録を贈りました。①「世の中に失敗というものはない。チャレンジしているうちは失敗はない。あきらめた時が失敗である。」②「現在の能力でできる、できないを判断してしまえば、新しいことや困難なことはいつまでたってもやりとげられません。」③「今日の成果は過去の努力の結果であり、未来はこれからの努力で決まる。」そして、夢や目標の実現に向かってあきらめることなく一歩一歩着実に、一日一日を大切に努力することの大事さを述べました。その後、鳥栖市教育委員会教育委員大石友和様に記念品を授与していただき、PTA会長天本典宝様に祝辞を述べていただきました。送辞は生徒会長山本陵央くんが述べ、答辞は前生徒会長鍋島暉史くんが述べました。どちらも感動的な内容でした。保護者代表の謝辞は、桜井充土様に述べていただきました。式後、学年合唱「あなたへ～旅立ちに寄せるメッセージ～」を卒業生が披露しました。心を揺さぶる素晴らしい歌声でした。そして、最後の学級取り扱いを行った後職員に見送られながら、卒業生が基里中学校を巣立っていきました。

## ～3年修了式～

3/7(木)3年生の修了式を行いました。基里校区で学んだことに誇りをもち、自分が打ち込めることを見つけて卒業後も一層の奮励努力を重ね、立派な大人になってほしいことを話しました。

## ～東部教育事務所長賞、かくれた善行賞～

修了式で東部教育事務所長賞、鳥栖市青少年育成市民会議かくれた善行賞を贈りました。「誰にでも優しく接する。常に真剣に活動する。時間を守る」ことなどが受賞理由です。おめでとうございます。

東部教育事務所長賞
かくれた善行賞

## ～クラスマッチ～

3/15(金)1、2年生のクラスマッチを行いました。1、2年生が男女混合で8チームをつくり、ソフトバレーボールを使ったドッジボールを実施しました。大変盛り上がり、学年の枠を越えて楽しいひとときを過ごすことができました。

## ～1、2年修了式・辞任式～

3/22(金)1、2年生の修了式と辞任式を行いました。修了式では、春休みに1年の振り返りを行い、新年度の抱負を立ててほしいことを話しました。辞任式では転出される先生方の紹介をし、転出先でのご活躍を祈念しました。その後、生徒代表が花束を渡し、皆で別れを惜しみました。

### ※ 転出される先生方

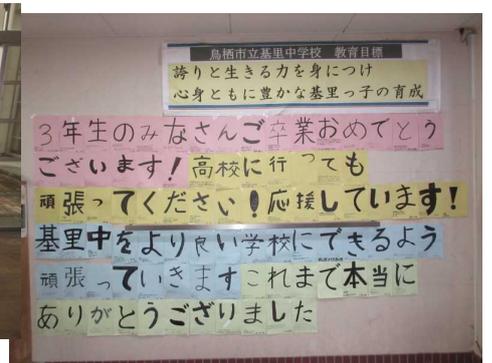
氏名	転出先

## ～基里賞～

修了式で各クラス1名ずつ、3学期に様々な場面で善い行いをした生徒に基里賞を贈りました。「毎日黒板掃除を行った。友人を大切にした。周りを支えた。いつも満点の笑顔だった」ことなどが受賞理由です。今後もぜひ継続してほしいと思います。

--

～第77回卒業式の様子～



# 基里中学校 コミュニティ・スクールだより (No.3)

## ～「学校で学び・家庭でしつけ・地域で育てる」～

3/19(火)10時00分から基里中学校第3回学校運営協議会を行いました。今回は、令和5年度学校評価の学校関係者評価をしていただきました。いただいたご意見を次年度の学校経営に生かしてまいりたいと考えています。学校運営協議会委員の皆様、1年間どうもありがとうございました。

評価項目	取組内容	具体的取組	評価
◎学力の向上	○全職員による共通理解と共通実践	・生徒全員が学びたいと思うような課題設定や教材を工夫し、生徒の興味関心を高める授業を行う。	A
	○根拠を明確にして書く力、説明する力を育むための理論や方法の共通理解と実践	・学期に1回の授業研究会を行う。 ・定期テスト等による手立ての検証と考察(読解力を問う問題の出題とその結果分析)を行う。	A
◎心の教育	○児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身につける教育活動	・学年や学級の実情に合わせて、道徳教材の研究を継続的に行い、情報交換をする。 ・担当を中心に各研修会の案内と参加の呼びかけを行い、参加・実施に努める。	A
	○いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	・「いじめ・いのちを考える日」に「生活アンケート」を行い、生徒の実態を把握し、いじめの早期発見・早期解決につなげる。	A
	○児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	・1、2学期に教育相談を実施する。 ・定期的に学級・学年通信を発行する。 ・高校調べや職業体験等を生徒の発達段階に応じて行う。	A
◎健康・体づくり	○望ましい生活習慣の形成	・定期的に、アンケートを実施し、「早寝・早起き・朝ごはん」の実態把握し、啓発・指導を行う。	A
	○安全に関する資質・能力の育成	・1学期に交通教室と自転車点検を行い、生徒の意識を高める。 ・防災に関する講演会に生徒だけでなく地域の方も招待して行う。	A
◎業務改善・教職員の働き方改革の推進	○業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	・OJTの日常化と連携による校務の役割分担を行い、時間外勤務を削減する。 ・定時退勤日を実態に即した日に設ける。 ・部活動の計画的な運営と休業日を実施する。	B
◎小中一貫教育の充実	○教科「日本語」の実践充実	・授業参観日に、地域の文化や人材等を生かした体験学習を積極的に行う。 ・小中学校での乗り入れ授業や交流活動を積極的に行う。	A
◎開かれた学校づくり	○地域と連携した学校づくりの推進	・各種たよりや通信、HP、メール等を活用し、行事等の情報の発信を行う。 ・コミュニティ・スクールの運営を通し各種団体、地域等に協力を以てし、教育活動の活性化を図る。	A

※ A：十分達成できている B：おおむね達成できている C：やや不十分である D：不十分である